

# 放課後等デイサービスガイドラインによる自己評価について

2021年 1月

ハート 亀沢店

放課後等デイサービスの質の向上と支援内容の適正化を図る為、児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者 64%（名18/28名：回収数/配布数）  
職員 100%（11名/11名）

## 《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	「子どもの活動のスペースが十分確保されているか」の項目において、ハンモックや大きめのブロック、バランスボール等が置いてあっても、その他に活動できるスペースがあって良いとの好評意見あり。	活動内容や利用児童の様子をみて十分なスペースが確保出来るよう、テーブルの出し入れ等行い環境調整を行っている。 日々の活動の様子を新聞や送迎時、連絡ノートを利用により発信する。 定期的に職員研修を行い、職員の統一性・専門性を図っていく。
適切な支援の提供	「固定化しない活動プログラムの工夫がされているか」ではほぼ全員「はい」を頂いた。一方で「放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか」の項目では不明の回答多数あった。	毎月の外出イベントや工作、調理、電車を使った活動を今後も継続していきます。また、現在障害のない子供との交流は行っていないが検討していきたい。
保護者への説明等	「日頃から子どもの状態を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解できているか」「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の配慮がなされている」の回答では、ほぼ全員が「はい」を頂けているが、職員により情報共有ができていない時があり、対応が異なる場合がある。言葉遣いなどが気になるところがある職員もいる。との貴重な意見を頂いている。	日頃から連絡帳や送迎時の保護者との会話により一日の様子がわかる。と意見を頂けているため継続していく。職員の対応の一環性を高めるため情報共有の徹底に努める。ミーティングなど職員の教育に努める。
非常時等の対応	避難訓練・防犯・感染症マニュアルにて、「分からない」との意見が多数あり。また、新型コロナウイルス感染症において、今後も情報共有を行っていきたいとの意見あり。	水害・災害・感染症マニュアルについて面談時に改めて説明し認知率を高めていく。避難訓練等は定期的に避難ルートや一時避難場所を児童と確認をしたり今後も行う。感染症などの流行有無があれば伝達していく。また新型コロナウイルスに対しての予防対策、手洗い・換気・消毒等の予防対策を実施していく。計画書の更新時にアセスメントシートと共に緊急避難場所等のプリントを配布している。
満足度	「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」では、ほぼ全員より「はい」と回答をいただいた。送迎の車が来た事を子供に伝えると急いで玄関に向かっていきます。色々な年齢のお友達と遊べる環境によりお友達への興味がとてもでてきていると好評コメントをいただいた。	過半数で満足との回答をいただきました。満足度が低下しないように、サービスの質の向上を図っていく。また、満足できていない、わからないとの意見もあったため、児童が楽しく過ごせるような環境作りや、サービス向上へ今後も取り組んでいく。